

留学生の日本におけるノンネイティブ日本語教師に対する意識調査  
A Survey of foreign students' view towards Non-native Japanese language teachers in Japan

北陸大学 横田隆志  
Takashi Yokota, Hokuriku University

## 1 はじめに

日本以外の日本語教育機関で日本語を教える仕事に携わっているのは主にノンネイティブの日本語教師であるが、日本国内の日本語教育機関ではネイティブの日本語教師が圧倒的に多い。しかし、岡崎（2005）でも述べられているように日本語学習は母語話者による母語接触場面で使われる日本語とは違う「共生日本語」を共に構築していく活動であると考えられるようになりつつあり、日本語教育における教師の役割も従来の教師指導型の教育から接触場面における学習者の自立学習へと考えられるようになった。そのような背景から最近では日本でのノンネイティブ日本語教師も増加しており、その役割や必要性についても述べられ始めている（カイザー 1995）。

北陸大学でも毎年、中国の提携校から派遣されるノンネイティブ日本語教師が留学生に対し、日本語の授業を行っている。しかしながら、留学の魅力として目標言語を話す人と会話ができるということがあり、自然な日本語を学びたいという学習者にとって日本でのノンネイティブ日本語教師の授業は否定的にとらえられることもある。

そこで、本研究では、北陸大学に在籍する留学生がノンネイティブ教師についてどのように考えているのかを調査する。

## 2 日本語教育におけるノンネイティブ教師

国際交流基金（2011）によると世界各国の日本語の学習者は約 365 万人にもなり、49,803 人の日本語教師がいる。そのうち日本語を母語とする教師は 28.2% と約 3 割で多くの教師は日本語非母語話者である。しかしながら、荒川（2009）が述べているように日本国内ではノンネイティブの日本語教師はほとんどいない。これは、教師としては母語話者が非母語話者に優るという意識が母語話者の側にあるのを感じる（石井 1996）とあるように日本語教師は日本語母語話者であるべきだと考えている教師が多く存在しているからである。また、ノンネイティブ日本語教師も日本語教育はネイティブの日本語教師が中心に行い、ノンネイティブは補佐的な役割を担っている（岡本 2010）とあるように、ノンネイティブ日本語教師もネイティブの日本語教師が日本語教育の中心にあると考えているからである。更に、学習者にとっても、留学の醍醐味として、日本語

ネイティブと触れ合うことができるというのがあり、日本国内での日本語教師の多様性についての議論があまりない。Cook (1999) が述べているように、言語の教育現場において「ネイティブ」を言語能力や言語熟達度、言語知識という観点から「言語モデル」としてとらえる考える傾向があり、教師側にも学習側にも「ネイティブ教師>ノンネイティブ教師」の考えが依然として根強く支持されているのである。

しかし、日本国内でも、ネイティブの日本語教師やノンネイティブの日本語教師からノンネイティブ日本語教師に関する研究が出はじめている。日本語教師の役割が教室内での日本語学習モデルとなり、日本語についての知識を一方的に教授することからインターアクションによる学習者の自律的な学習を支援することが注目されつつあり、日本語教師の多様性について、加納 (2010) やカイザー (1995) などが研究をしている。また、日本語の目的が「日本人のような日本語」や「正しい日本語」の存在、そしてその習得を目指す教育の在り方に疑問が投げかけられ、「非日本人」を「日本人化」するための日本語教育とは異なる方向性が模索されている (田中 2013) と変化している。更に、言語能力、言語熟達度、言語知識についても Bachman (1990) はネイティブは全ての面でノンネイティブより上手にふるまうことができるわけではないと述べているように「ノンネイティブ日本語教師」についての考えにも変化がでてきている。

従来、ノンネイティブ日本語教師は主として海外での日本語教育で問題にされた。しかし、留学生がどんどん増えていく昨今、日本国内でのノンネイティブ教師の果たせる役割についても考えなければならない (カイザー 1995) と述べているように、日本でのノンネイティブ日本語教師についての存在だけでなく、その役割についても議論される必要がある。

### 3 ノンネイティブ教師の役割

カイザー (1995) では、ノンネイティブ日本語教師の座談会からノンネイティブ日本語教師の特徴を ①学習者と共通の体験を持っている ②ネイティブとの日本語教師と役割を分担して教えることが多い ③学習者のモデルになれるとしている。

ノンネイティブ教師のメリットについての研究は阿部・横山 (1991) や石井 (1996) などがある。阿部・横山はノンネイティブ日本語教師の利点を生かした教授法について研究を行った。日本以外でのノンネイティブ日本語教師と日本以外で日本語を教えた経験を持つネイティブの日本が教師に対して意識調査を行い、ノンネイティブ日本語教師のメリットを①学習者と母語が同じ、②学習者と文化背景が同じ、③学習者としての経験がある。ということを示している。また、石井は、上記の3つのメリットに加え、ネイティブ日本語教

師とノンネイティブ日本語教師が相互に発信・受信を行うことができる環境を作ることによって両者がお互いに学ぶ機会を得ることができることがノンネイティブ日本語教師のメリットであると述べている。また、アルク（2002）での座談会ではノンネイティブ日本語教師は学生との信頼関係を築くのが大変だが、メリットも多く阿部・横山や石井などが述べているメリット以外にも「試験のストラテジーを教えられる」などがあることや学習以外の生活についてのアドバイスなどを与えることができるという意見が出ている。

日本語教師をめざすノンネイティブに対する日本語教育についての研究では、古市（2005）、加納（2010）などがある。古市は、非母語話者実習生の多言語文化教育を目指す実習からノンネイティブ日本語教師は日本語学習者に対して対話を促す学習支援、マイノリティをしての心理的な支援、生活者としての社会的な活動支援から支援ができ、ノンネイティブ日本語教師だからこそこのような支援ができるとノンネイティブ日本語教師は感じていることを示唆している。また、加納は、大学院での日本語教師養成プログラムでのノンネイティブ学生に対して、ノンネイティブ日本語教師の役割をどのように考えているかを日本語の知識、教え方・指導法について、日本語の使用について、社会文化的な側面について の4つの点から調査した。その結果、学習が難しいと感じるところを説明できるなど学習者としての経験を生かしながら教えることができる、日本語を客観的にとらえることができるなど困難点に対する気づきがあることがメリットだと考えている学生が多いことを明らかにしている。

このように、ノンネイティブ日本語教師には多くのメリットがあり、「ノンネイティブ日本語教師<ネイティブ日本語教師」という考えは間違った意識であることが分かる。しかしながら、学習者にとってノンネイティブ日本語教師は、特に日本では、まだ一般的になっていないとは言えない。

#### 4 北陸大学でのノンネイティブ日本語教師

北陸大学では「2+2編入留学」に伴い、2004年から中国の姉妹校から日本語教師の受け入れを開始した。姉妹校の教員は1年間、ノンネイティブ日本語教師として、日本語の授業を担当する。基本的に授業中は中国語を使わず、日本語で日本語の授業を行っている。以下の表は北陸大学で日本語の授業を担当した教師の数と大学である。

姉妹校からの日本語教師の採用についての本来の目的は、①学生確保のため、②学生の生活支援のため、であった。しかし、その他の日本でのノンネイティブ日本語教師の役割も数多くあるために現在も採用している。

表1 「ノンネイティブ教師の受け入れ」

年度	人数	大学名
2004年度	3	北京語言大学・蘇州大学・南京大学
2005年度	3	北京語言大学・蘇州大学・南京大学
2006年度	4	北京語言大学・蘇州大学・南京大学・大連外国語学院
2007年度	4	北京語言大学・天津外国語大学・南京大学・大連外国語学院
2008年度	4	北京語言大学・天津外国語大学・西安外国語大学・大連外国語学院
2009年度	4	北京語言大学・天津外国語大学・西安外国語大学・大連外国語学院
2010年度	3	天津外国語大学・西安外国語大学・大連外国語学院
2011年度	3	天津外国語大学・西安外国語大学・大連外国語学院
2012年度	3	天津外国語大学・西安外国語大学・大連外国語学院
2013年度	3	天津外国語大学・西安外国語大学・大連外国語学院

#### 4 調査概要

##### 4-1 調査目的

調査目的は北陸大学で中国人ノンネイティブ日本語教師の授業を受講している学生が、ノンネイティブ日本語教師についてどのように考えているかを明らかにすることである。

##### 4-2 調査対象

提携を結んでいる中国の大学で2年間の日本語教育を行った後、北陸大学で2年間専門教育を行う「2+2編入留学生」の3年生155名に対して質問紙調査を行った（回収率98%）。調査対象者は153名だったが、回答の信頼性に欠ける5名を除外した148名を分析対象者とした。

##### 4-3 調査期間

来日後すぐの期間では日本でのノンネイティブ日本語教師についての意識が少ない。そこで1 Semester終了した2012年10月～2012年12月に調査を行った。

#### 5 結果及び考察

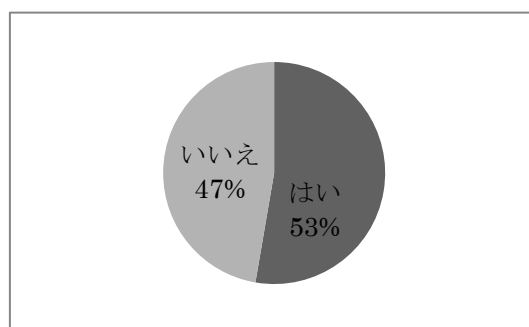
質問紙は大きく分けて、中国人ノンネイティブ日本語教師について、中国語を母語としないノンネイティブ日本語教師について、ノンネイティブ日本語教師の必要性、ノンネイティブ日本語教師のメリットについての意識調査を行った。また、その理由については自由記述で書いてもらい、それを①日本語の知識・能力、②教え方、指導法、③日本語の使用、④社会文化的な側面、⑤その

他、の5つの点から分析した。

#### 5-1 中国人ノンネイティブ教師

まず、「中国人ノンネイティブ日本語教師の授業を受けたいか」という質問に対しては、「はい」と答えた学生は78名、「いいえ」と答えた学生は70名だった。実際に中国人ノンネイティブ日本語教師の授業を受けている学生の約半分は受講したくないと思っていることが分かった。また、同時に現在の中国人日本語教師の授業を肯定的にとらえている学生も約半数いることも明らかになった。

表2 「中国人ノンネイティブ日本語教師に対する意識調査」



授業を受けたいと思っている学生の一番の理由は、「母語を媒介として直接指導できる」からであった。学習の際に母語で質問ができることが中国人学習者にとって必要であるということが分かる。また、「必要ない」と感じている学生は「日本語らしさ」と「留学の意味」を重視している。彼らは、せつかく日本に留学に来たのだから日本人に教えてもらいたい、日本語らしさは日本人にしなかないと感じているようである。

表3 「理由」

はい	いいえ
<b>日本語の知識・能力について</b>	
	発音が正しくない・よくない。14
<b>教え方・指導法について</b>	
学習者の母語や学習観、価値観などを分かった上で指導できる。8	中国人ノンネイティブ教師は教育の方法が中国的である。5
母語を媒介として直接に指導できる。43	
自分の学習経験を生かした教え方ができる。2	
<b>日本語の使用について</b>	
学習者にとって学習しにくい所、つまずきやすい所が分かる。2	日本語らしさが無い。23

社会文化的な側面について	
母語、母文化との比較を通して教えることができる。1 自国の文化と日本文化の両方を知っているので比較できる。1	
その他	
	日本人の方がいい。9 中国人の教師の授業だと留学の意味がない。22 ノンネイティブの授業は必要ない。2

## 5-2 中国語を母語としないノンネイティブ日本語教師

表4から中国語を母語としないノンネイティブ日本語教師はあまり必要としていないことが分かる。「中国語を母語としない教師の授業を受けたい」と思っている学生はわずか29人だった。この原因としては、「日本語らしさ」もあるが、文化的なことでも否定的にとらえている学生が多い。また、ノンネイティブ教師そのものが意味のない存在だと考えている学生も存在する。更に、ノンネイティブ日本語教師を肯定的にとらえている学生も「他言語に触れられるから」という日本語教師としてではない視点で評価している。

表4 「中国語を母語としないノンネイティブ日本語教師についての意識調査」

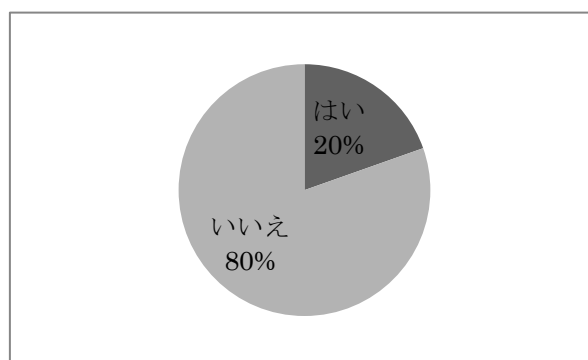


表5 「理由」

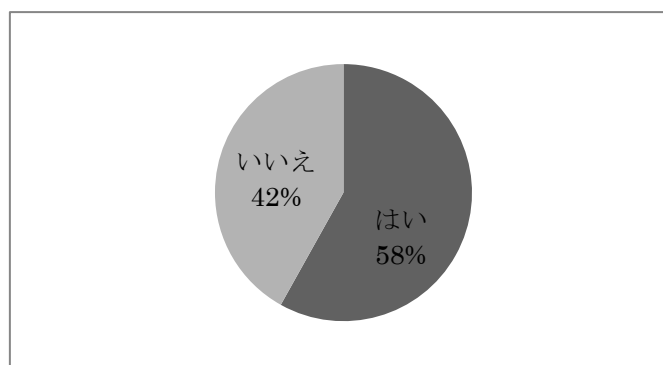
はい	いいえ
日本語の知識・能力について	
	正しい日本語を学べない。9 発音が正しくない。3
教え方・指導法について	
日本語学習の方法を教えてもらえる。2	

日本語の使用について	
	日本語らしさを学べない。19
社会文化的な側面について	
違う言語と文化も学べる。6 違う文化からの日本を学べる。3 日本語の多様性を学べる。2	日本的な文化を教えることができない。5 文化が違うのでコミュニケーションが難しい。5
その他	
面白そう。3	ノンネイティブ日本語教師に興味がない。3 ノンネイティブ日本語教師のメリットがない。4 日本人教師の方がいい。11

### 5-3 ノンネイティブ日本語教師の必要性

「ノンネイティブの日本語教師が日本に必要か」という質問に対しては、約60%の学生が「必要である」と答えている。中国人ノンネイティブ日本語教師の授業は受けたくないが、日本で学ぶ外国人にとってノンネイティブ日本語教師は必要であると考えている学生が多いことが分かった。

表6 「ノンネイティブ日本語教師の必要性についての意識調査」



### 5-4 ノンネイティブ日本語教師のメリット

表7からノンネイティブ日本語教師のメリットとしては、「母語を媒介として直接指導できる」とことと文化的な側面からのことと考えている学生が多いことが分かる。「母語媒介」に関してはノンネイティブ日本語教師を中国人のノンネイティブと考えてメリットを述べているが、文化側面に関しては、ノンネイティブ日本語教師一般について考えたものであるように思われる。

表7 「ノンネイティブ日本語教師のメリット」

はい	いいえ

日本語の知識・能力について
発音を教えるのが上手。 2 文法の説明が分かりやすい。 5
教え方・指導法について
母語を媒介として、直接指導できる。 4 2 学習者の母語や学習観、価値観などを分かった上で指導できる。 1 0 基礎的なことや日本に来て間もない時には助かる。 7 学習者と言語学習観が近い。 3 自分の学習経験を生かして指導できる。 5
日本語の使用について
ノンネイティブと話す方が安心できる。 2 ノンネイティブということで親近感がある。 7 学習者の誤用の原因がわかる。 2
社会文化的な側面について
日本語の多様性を感じることができる。 2 8 他の文化や言語も学べる。 1 6 生活者としてのアドバイスをしてもらえる。 1 8 母語・母文化との比較を通して教えることができる。 5 ノンネイティブとして日本を客観的に見られる。 4 学習者と同じ立場で文化や考え方を話し合える。 5 日本文化と一緒に学べる。 3
その他
分からない。 2 なし。 5

## 6 まとめ

今回の調査で明らかになったことは、ノンネイティブ日本語教師について否定的にとえている学生ばかりではなく、ノンネイティブ日本語教師の役割についても学生は考えていることである。しかしながら、言語能力や言語運用に関しては「ネイティブ日本語教師>ノンネイティブ日本語教師」という考えも根強く残っているようである。また、中国人ノンネイティブ日本語教師については、母語を使用してコミュニケーションがとれ、同じ文化背景があることに話合い存在であることが明らかになった。

今後はこの結果を踏まえ、学生の授業選択の方法やノンネイティブ日本語教師をどのような形で授業に生かしていくかを検討する必要がある。



## 参考文献

- 阿部洋子・横山紀子（1991）「海外日本語教師長期研修の課題 —外国人日本語教師の利点を生かした教授法を求めて—」『日本語国際センター紀要』第1号 国際交流基金日本語センター
- 荒川洋平（2009）『日本語という外国語』講談社
- アルク（1994）「ライバルは『ノンネイティブ日本語教師』」『月刊日本語』9月
- アルク（2002）「日本語学習者に大接近！」『月刊日本語』2月
- 石井恵理子（1996）「非母語話者の役割」『日本語学』Vol. 15 No2 明治書院
- 岡崎眸（2005）「多言語・多文化共生時代の日本語教育—共生言語としての日本語教育」『言語教育の新展開』ひつじ書房
- 岡本和恵（2010）「『ネイティブ』教師・『ノンネイティブ』教師」の意識とその実践」『阪大日本語研究』22
- カイザー シュテファン（1995）「ノンネイティブ日本語教師の役割 異文化間教育現場としての日本語教室を目指して」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』10
- 加納千恵子（2010）「大学院における日本語教師養成の課題：ネイティブ・ノンネイティブによる教師役割観の違い」『国際日本研究』2
- 国際交流基金（2011）『海外の日本語教育の現状・日本語教育機関調査・2009年』
- 田中里奈（2013）「日本語教育における『ネイティブ』/『ノンネイティブ』概念」『言語文化教育研究』11
- 古市由美子（2005）「多言語多文化共生日本語教育実習を通して見た非言語母語話者教師の役割」『小出記念日本語教育研究会論文集』13
- Bachman, L. F. (1990). *Fundamental Considerations in Language Testing*. Oxford: OUP.
- Cook, V. (1999). *Going beyond the native speaker in language teaching*. *TESOL Quarterly*, 33(2)
- Holliday, A. (2005). *The Struggle to Teach English as an International Language*. Oxford: Oxford University Press.

(今回の調査で使用した質問紙)

**日本における外国人（ノンネイティブ）日本語教師についての意識調査**

- 1 日本語能力試験N1に合格していますか。  
はい ・ いいえ
- 2 現在、**中国人日本語教師**の授業がありますか。  
はい ・ いいえ
- 3 (2で「はい」と答えた人に聞きます) どのような授業を受けていますか。  
例：聴解 日本語能力試験対策
- 4 日本で**中国人日本語教師**の授業を受けたいと思いますか。それはどうしてですか。  
はい ・ いいえ
- 5 (4で「はい」と答えた人に聞きます) どのような授業を受けたいと思いますか。  
例：聴解 日本語能力試験対策
- 6 **あなたの母語以外の言葉**を話す**外国人日本語教師**（例えば、韓国人の日本語教師教師）の授業を受けたいと思いますか。それはどうしてですか  
はい ・ いいえ
- 7 (6で「はい」と答えた人に聞きます) どのような授業を受けたいと思いますか。  
例：聴解 日本語能力試験対策
- 8 日本で外国人日本語教師は必要だと思いませんか。  
はい ・ いいえ  
  
どうしてそのように思いませんか。理由を書いてください。
- 7 日本語教育を受ける際の外国人日本語教師の良いところをあげてください。

ご協力ありがとうございました。